

別表第1：色彩・素材

1. 避けるべき色彩（彩度の高い色）

R（赤）系の色相で，彩度が4を超えるもの
YR（黄赤）系の色相で，彩度が6を超えるもの
Y（黄）系の色相で，彩度が4を超えるもの
GY（黄緑）系の色相で，彩度が2を超えるもの
G（緑）系の色相で，彩度が2を超えるもの
BG（青緑）系の色相で，彩度が2を超えるもの
B（青）系の色相で，彩度が2を超えるもの
PB（青紫）系の色相で，彩度が2を超えるもの
P（紫）系の色相で，彩度が2を超えるもの
RP（赤紫）系の色相で，彩度が2を超えるもの

○ 左表に示した記号及び彩度の数値は，マンセル表色系に基づくものです。次ページに，マンセル表色系及び色等についての説明を掲載しています。

○ 避けるべき色彩（彩度の高い色）は，建築物の外壁や屋根等の大面積で使用すると，非常に目立ち周囲への景観的影響が大きいことから，最も大きい面積に用いる基調色としての使用を避けるべき色として，第Ⅲ章の良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項の中で避けるべき色彩としています。

○ 自然素材の色の場合は，左表の対象から除きます。

2. 推奨する素材・色彩

- ・ 自然素材：石，土，木材，れんがなど自然にある素材を用いた資材や建材及びそれに準ずる色彩。
- ・ 伝統的素材：塗り壁，焼成瓦，銅板葺き及び伝統的建築物に用いられている資材及びそれに準ずる色彩。
- ・ 無彩色：灰色等の無彩色系の色彩。（明度の高い色（純白に近い色）は，光の反射性が高く建物が浮き立って見える場合があるため，使用する際は注意が必要です。）

落ち着いた色調の建物の例

（※写真は，市都市景観賞受賞作品等から紹介しています。）



自然素材・伝統的素材を使用している建物の例



無彩色を基調とした建物の例



マンセル表色系：色彩を「色みー色相」, 「明るさー明度」, 「色の強さー彩度」の3つの組み合わせで1つの色を表すシステムのことです。言葉では正しく伝わりにくい色を的確に伝えるために、このマンセル表色系を用い、色を表すこととします。

色相

色合い、色味を示し R(赤)・Y(黄)・G(緑)・B(青)・P(紫)の5つに大別し、さらにその中間色の YR(黄赤)・GY(黄緑)・BG(青緑)・PB(青紫)・RP(赤紫)の5つを設け、10色相としています。

(右図の色相環では、さらに YR(黄赤)の色相を10分割して表しています。)

明度色彩の明るさのことで、その明るさを0から10までの数値で示します。完全吸収の黒0、完全反射の白を10で表します。

彩度

色彩の鮮やかさのことで、数値が大きくなるほど鮮やかな色を表します。最も彩度の高い色を純色といい、この最高彩度は、色相により数値が変わり、赤系では14程度、青系では9程度となります。

基調色 (ベースカラー)

配色の中で、外観の中心となる最も大きい面積に用いる色を指します。

副基調色 (サブカラー)

基調色とアクセントカラーをつないで安定させる役目の色で、全体の1/4(25%)以下を占める色を指します。(各色相において、基調色として使用可能な範囲の中で、明度3未満を推奨します。)

アクセントカラー

小面積で、全体を引き締めたりきわ立たせたりするために、アクセントとして使う色を指します。(各色相において、最大彩度より4度以上低い彩度を推奨します。

例えば、最大彩度が14の場合、 $14-4=10$ 、彩度10以下となります。)

マンセル記号

マンセル記号は、これら3つの属性を色相、

明度、彩度の順に表します。

例えば、

ゴワイアルロク の サン
5 YR 6 / 3
色相 明度 彩度

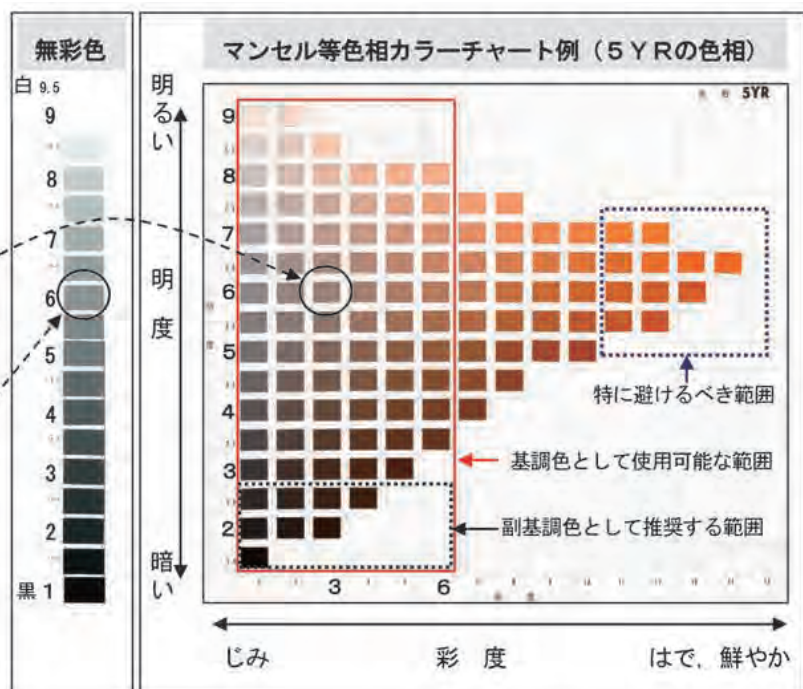
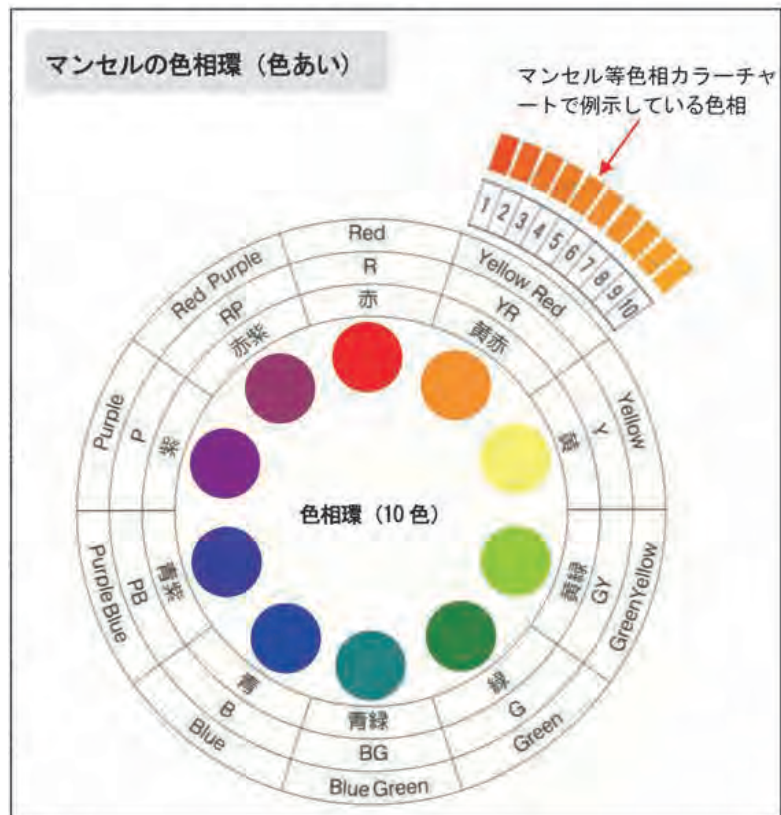
という表記になります。

また、無彩色の場合は、

エヌ ロク
N 6
明度

という表記になります。

(Nはニュートラルの意味で、色味の無いことを指しています。)



別表第2：緑被率

緑被の計算

i 敷地内空地の計算

敷地面積から指定建ぺい率で計算した建築面積を引く。

ii 緑被の計算

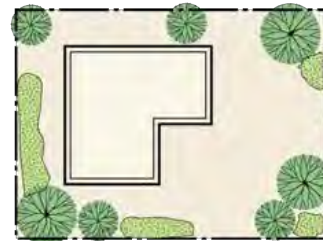
樹冠の水平投影面積を実測するか、若しくは下表を用いて算出。

樹木の高さ	緑被面積
1 m以下の場合	0.5 m ²
1 mを超え2 m以下の場合	1.5 m ²
2 mを超え3 m以下の場合	3.5 m ²
3 mを超え4 m以下の場合	6.0 m ²
4 mを超え5 m以下の場合	10.5 m ²
5 mを超え6 m以下の場合	14.0 m ²
6 mを超える場合	19.5 m ²

■ 生け垣の場合

緑被面積＝幅 0.6m×長さ

緑被面積の計算



立木



敷地内空地面積

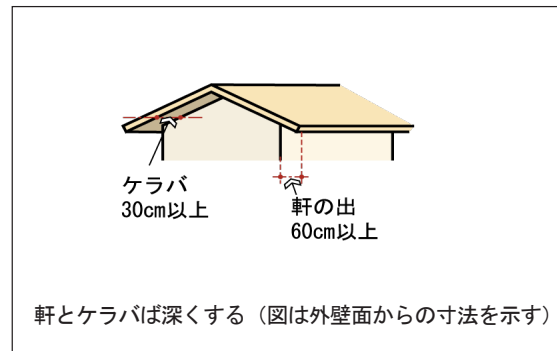
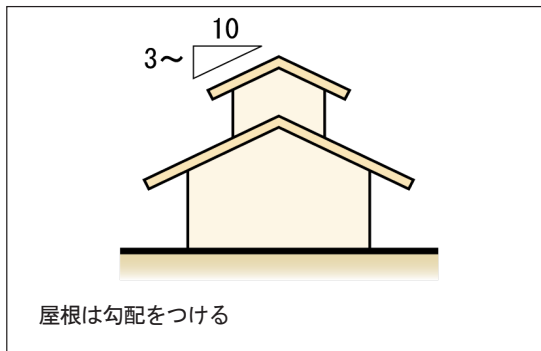
＝敷地面積×(1-指定建ぺい率)

緑被面積

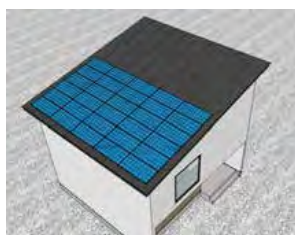
＝敷地内空地面積×0.1

別表第3：第Ⅲ章の良好な景観の形成のための行為の制限の解説図

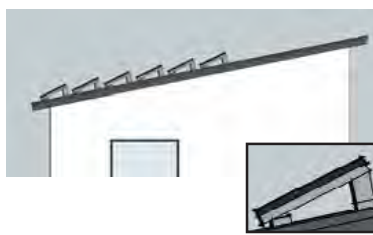
(1) 田園・丘陵景観地域における形態・意匠



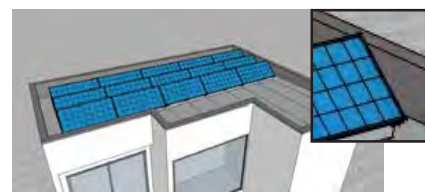
(2) 工作物：太陽光発電設備



○ パネル角度を屋根勾配に合わせて設置している。



× パネル角度が屋根勾配と異なり、架台等が周囲から見えている。



○ パネル角度が屋根勾配と異なるが、架台等が周囲から見えないうように遮蔽している。